

件名：メディアセンターのサービスを評価してください！（御礼と再度のお願い）

****年**月**日

慶應義塾大学メディアセンターを
ご利用のみなさま

慶應義塾大学メディアセンターでは、ウェブによる図書館サービス
品質評価のための利用者調査アンケートLibQUAL+(R)（ライブカル）
を実施中です。

ご協力いただいた皆様には心より御礼申し上げます。
このメールは対象者全員へお送りしています。すでにご回答
いただいた方は、再度、ご回答いただく必要はございません。

また、今後ご協力いただける方は「最も利用するメディアセンター
（図書館）」について2008年11月1日までに下記URLからご回答の入力
をお願い申し上げます。

http://*****

（*このアンケートのURL、本メールを転送・掲載することはご遠慮
ください。）

参加賞ご希望の方は、調査終了後の「ありがとうございました！」の
画面をプリントの上、お近くのメディアセンターまでお持ちください。
先着3,000名に慶應グッズを差し上げます。

また、調査にご協力いただいた方の中から抽選で5名の方に10,000
円分の図書カード（またはiTunes(R)カード、またはコーヒーショ
ップカード）、45名の方に1,000円分の図書カードを差し上げます。
抽選に参加される方は、回答画面でメールアドレスを入力してく
ださい。

結果（速報）は2008年度内にメディアセンターのホームページで公
開します。また、この調査結果を分析し、図書館サービスの改善・
向上に活用させていただきます。

調査に関する質問はこちらをご覧くださいか、
<http://project.lib.keio.ac.jp/libqual/>
以下にお問い合わせください。

どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

--++--++--++--++--++--++--

調査の背景と補足説明は以下です。

調査の背景

慶應義塾大学メディアセンターは中期計画2006-2010を策定し、その計画に沿って現在事業を進めております。ここに掲げた計画の一つが、図書館サービスの改善点を発見し、今後の図書館サービスの方向性を見極めるための利用者調査の実施です。

調査はLibQUAL+(R)というウェブを使った方法で行います。このLibQUAL+(R)は、非営利団体である北米研究図書館協会（Association of Research Libraries, ARL）とテキサスA&M大学が共同開発し、北米の大学のほかヨーロッパ、東南アジアを含む世界の約1,000の大学で実施されています。

調査に関する補足説明

1) メディアセンター中期計画2006-2010

http://www.lib.keio.ac.jp/headquarter/pdf/midrange_plan2006_2010.pdf

2) 調査に用いたメールアドレスの取得方法

本調査に用いたメールアドレスは、図書館貸出システムから取得いたしました。メディアセンターでは、「慶應義塾大学メディアセンターにおける個人情報の取扱いについて」を定めています。本調査での利用は、「図書館運営の改善や管理」の範囲内と判断し、関係各署からの承認を得ています。

<http://www.lib.keio.ac.jp/kojinjoho/>

3) 謝礼品への応募のためのメールアドレスの扱い

謝礼品への応募のために入力されたメールアドレスは、調査の回答とは切り離して処理されます。また、謝礼品の抽選以外の目的で再利用することはありません。

4) 調査データ

回答していただいた内容は、ARLのサーバに蓄積され分析が行われます。

5) 調査の中心となる質問は22問です。最も利用するメディアセンター(図書館)のサービスについて、許容できる最低限のレベルと望ましいレベル、そして実際のレベルを点数でお答えください。

--++--++--++--++--++--++--